

設立35周年記念、 講演会と式典が行われました

2022年10月15日(土)、習志野市国際交流協会設立35周年を記念して、「トーセイホテル&セミナー幕張」において記念講演会と記念式典が開催されました。講演会・式典ともに来賓や会員74名が参加、受付ではウクライナ支援の絵はがきと缶バッジが販売されました。



記念講演会「世界遺産の不思議と魅力」 世界遺産検定マイスター 片岡英夫さん

記念式典に先立ち、記念講演会が開催されました。テーマは「世界遺産の不思議と魅力」で、講師は世界遺産検定マイスターの片岡英夫さんです。片岡さんは、初代海外旅行地理名誉博士であり、著作やメディアでの発信をはじめ、さまざまな分野でご活躍の方です。

講演は参加型で、聴衆はクイズに答えるなどして自然と講演に引き込まれていきました。金閣寺(あの金色の建築物)

は世界遺産なのか？ 世界遺産が一番多く指定されている国はどこか？ などを聴衆に問いかけ、私たちの既成概念を破るような驚きの数々を語ります。

片岡さんが特に強調していたこと

は、世界遺産の登録条件である「顕著な普遍的価値を有すること」です。この条件のもと、登録基準は10項目あり、そのうちの一つ以上を満たさなければならないのです。

講演は、時にユーモアを交え、ハードルを下げながら



片岡さんの講演

も、世界遺産の本質を突く深みのあるものだったと思います。参加した皆さんも納得した表情でした。

(報告：伊東稔雄 広報部会)

記念式典 35年の称賛と感謝、 40年への決意とともに



吉村NIA会長

今回の記念式典はコロナ禍での実施ということで、徹底した感染症防止対策を講じた上での開催となりました。

吉村和就NIA会長からは、若い人に外国人と触れ合う実体験を増やすなどの支援に力を入れていきたいということ、これからも「国際親善を通じて習志野市の国際化に寄与する」という精神で邁進していきたいという挨拶がありました。



宮本市長

宮本泰介習志野市長からは、習志野市国際交流協会が、日本人と外国人が共に安心して暮らせることに寄与してきたことと、国際性豊かな人材の育成に貢献していること、その存在意義は今後ますます高まっていくと確信している、とのお

言葉をいただきました。

そして清水大輔市議会議長からも、コロナ禍であっても、これまで日本が世界各国と築き上げてきた絆は変わらないこと、そして各国との友好・親善が世界平和の維持・発展に寄与するものである、とのお話がありました。

アラバマ州から来ている3人のALT(外国語指導助手)が日本語で挨拶をして会場を沸かせた後に、現顧問で崎山征雄前会長に、長年にわたるご功績に対して感謝状と花束が渡されました。(報告：井澤修美 事務局長)

バスツアーで成田・佐原・酒々井を 訪ね歴史に触れ、紅葉を満喫した 一日でした

日向洋美（文化交流部会）



成田山新勝寺で記念撮影

“Oh! What a beautiful morning!” 思わずミュージカルの一節を口ずさむような青空の下、11月10日（木）、私たち一行28人は習志野市役所を出発しました。今回の目的地は、紅葉の成田山新勝寺、水郷の佐原と酒々井プレミアム・アウトレットです。

新勝寺境内では菊祭りが開催されており、1本の幹から何百の小菊の花をつけた鉢や、初めて見る平たいお皿の様に花びらが開いた菊等に圧倒されました。広い境内に紅葉の木々と重要文化財の御堂が調和して建ち、平安時代中期に開山した歴史の重みと、維持してきた日本人の心に潜む信仰心を感じました。皆様それぞれにお寺の文化財や美しい秋を満喫なされたことでしょう。

佐原では自由見学で、私は吉村会長を含めて数人で老舗の鰻屋に直行。お味も量も大満足でした。お腹が満たされた後は、合流した仲間と小野川観光船を借り切って、船上からゆっくりと北総の小江戸を楽しみました。観光船の乗場は日本地図を初めて作った伊能忠敬旧宅の前です。



観光船で小野川の舟旅

今回のバスツアーでは吉村会長に伊能忠敬のお話を
して頂きました。その中で特に印象深かったことをご

紹介したいと思います。

忠敬が測量を始めたきっかけは、帝政ロシアの脅威を感じた江戸幕府の内密な依頼もあったとのこと。前回のバスツアーで見学した日露戦争の戦艦「三笠」やウクライナ侵攻が頭をかすめました。忠敬は江戸時代の平均寿命が40歳代の時に、50歳から天文学を学び55歳から測量の旅に出たのです。道も整備されていない所を一日40km（同じ歩幅で測量しながら）、17年間も日本国中を歩き続けて日本地図を完成させました。

佐原の東薫酒造でお酒の試飲と買い物の後、酒々井アウトレットに到着。それぞれに買い物やアフタヌーンティーを楽しみました。暖かい紅葉のさなかに、改めて日本の歴史と自然の美しさに触れて満たされた1日でした。

タスカルーサ国際姉妹都市協会の リサさんからニュースレターが 届きました

今回NIAの35周年記念事業や市民まつりのことが掲載されています。

協会のホームページからご覧ください。

issue of the TSCI Digital Newsletter to discover ways you can be a part of our global celebrations, now and throughout the year!

Welcome to a world of opportunity with TSCI!

Lisa Keyes

Lisa Keyes - TSCI Executive Director Alabama State Representative and Board of Directors Liaison, Sister Cities International

Happy 35th Anniversary Narashino International Association!

Hearty congratulations to the Narashino International Association on reaching its 35th Anniversary milestone! On October 15, the City of Narashino celebrated the special occasion with an official commemorative ceremony, led Narashino Mayor Daisuke Miyamoto, city and regional officials, NIA Chairperson Kazunari Yoshimura, and NIA representatives.

習志野きらっと2022に参加しました 3年ぶりの笑顔に ウクライナ支援も 伊東稔雄（広報部会）



サンバに参加するNIAチーム

10月9日（日）に、市民まつり「習志野きらっと2022」が市役所敷地内及び市役所通りにて開催されました。コロナの感染拡大により3年ぶりの開催となりました。大変な賑わいで、ステージの発表を見たり、買い物やグルメを楽しんだり、長い行列もいたるところでみられました。

国際交流協会もブースを出して、協会の紹介やPRを行いました。今回は特にウクライナの支援活動を行い、前回のスクウェアでも紹介した絵はがき等を販売しました。また「wakaruta」というワークショップを実施しました。ウクライナから避難してきているユリヤさんも駆けつけて参加したほか、多くの来訪者がワークショップを体験しました。最後にサンバパレードが行われ、国際交流協会チームは皆さん赤い法被を着て笑顔でサンバを踊っていました。



ウクライナから来日したユリヤさん

NI-Youthが谷津遊路商店街の秋まつりに参加 外国への興味と支援を実現した ワークショップ 金井勇樹（NI-Youth）

10月29日（土）、京成線谷津駅南口の前にある谷津遊路商店街で秋まつりが開かれました。NI-Youthはこれに参加して「wakaruta」のワークショップを行いました。

wakarutaとはNIAの会員でもある平野だいさんが発案した企画で、難民をはじめ日本語を第一言語としない人々を対象とした、日本語学習支援プロジェ

クトです。私たちが日常で使う「これを知らないと困る言葉」を日本語で、その読みを他言語の文字で1枚に書いたカードを、子ども



wakarutaのワークショップ

たちが作り、日本語学習や日常生活で役立ててもらおうというものです。

今回はウクライナ支援のため、ウクライナ文字の発音表を使ってワークショップを行いました。子どもたちは外国の人を思いやるきっかけになったと思います。またウクライナの言葉を書くことで、文字の難しさに苦戦しつつもウクライナ語に興味をもったようでした。

このワークショップで集まった寄付金は、同時に行った絵はがきと缶バッジ販売の売り上げとともにウクライナ支援にあてられました。また参加者が作ったカードはウクライナの方の日本語学習の支援に使われます。その国に興味を持つきっかけになり、支援にもつながる素晴らしい企画だと感じました。

ウクライナ支援プロジェクト報告



きらっと2022での募金活動

NIAは、10月に実施されたイベントで絵はがきや缶バッジの販売、ワークショップ「wakaruta」を行うなどのウクライナ支援プロジェクトを実施。その売上金等50,890円を赤十字を通して「ウクライナ人道危機救援金」に寄付しました。

日にち	イベント	金額
10月 9日（日）	市民まつり きらっと2022	31,650円
10月15日（土）	協会設立35周年記念事業	11,400円
10月29日（土）	谷津遊路商店街秋まつり	7,840円
合計		50,890円

新ALTアレクサンダー・ルイス・ディアズさん紹介

大学時代にオペラで 光源氏も演じた日本通

佐藤洋子（広報部会）



きらっとサンバに
参加した
ディアズさん
(中央)

アレクサンダー・ルイス・ディアズさんは、2022年8月に、姉妹都市タスカルーサから習志野市にALTとして派遣されてきました。12月現在、市立第五中学校で教壇に立っています。

ディアズさんは日本、そして習志野市と浅からぬ因縁をもっています。

第一に、実は関西弁のかなりの使い手らしいのです。大学3年生の時、関西外語大に7カ月留学。たこ焼きや浪花カルチャーに親しみ、神社仏閣巡りなどに没頭したそうです。「一番好きな所は伏見稻荷。赤い鳥居がブルーと並んでいるのは壮観ですね」と、流ちょうな日本語で語ります。

第二に、弟が過去にタスカルーサからの高校生訪問団員として習志野市に来日。大感激の土産話を聞き、「その頃から習志野市に好印象を持ちました」と笑います。

第三に、アメリカの大学時代には『源氏物語』のオペラを創作。作詞作曲はもとより、テノール歌手として主役の光源氏を演じたそうで、日本への傾倒ぶりがうかがえます。

趣味の1つである編み物は6年ほど前から始め、作ったブランケットはすでに100枚くらいになるそうです。「日本に来てからも、もう5枚くらい作りました。テレビを見る時など、何もしてないのはもったいない。いつも何か作りたいんです（笑）」。

今後の抱負は、「コミュニティ作り。友達だけでなく、いろいろな人々と関係を作っていきたいですね」。その言葉通り、10月の習志野きらっとでは早速ハッピーを着てサンバに参加、大いに祭りを盛り上げてくれました。

ALTと英会話が楽しめるチャットを ご存知ですか？

月曜日の午後4時から5時までの1時間、タスカルーサから派遣されてきているALTを囲んで、英語でチャット（おしゃべり）を楽しむ会が催されています。参加はNIA会員ならどなたでもOK。アメリカの行事や日本の習慣、旅行、趣味、スポーツ、ペット等々、トピックは自由でいろいろ。言葉に詰まっても大丈夫。毎回2名参加しているALTがやさしく助けてくれます。

●対面チャット：毎月第1月曜日 サンロード津田沼6階NIA会議室にて10名まで

●Zoomチャット：毎月第2第4月曜日 人数制限ありません

●問合せ・申込：どちらも事前申込み制。NIA事務局へ電話またはメールで



NIA会議室で対面のチャット

2023年姉妹都市タスカルーサ市桜まつり アラバマ大学主催俳句コンテスト 作品を募集します

タスカルーサ市では、桜が咲き誇る毎年3月末から4月頃に「タスカルーサ市桜まつり俳句コンテスト」が開催され、習志野市からもたくさんの俳句を応募しています。

●テーマ：「未来をひらく(Renew)」

●応募要領：応募用紙をNIA事務局または協会ホームページから入手し、2023年1月27日（金）までにNIA事務局へ提出（持参、Fax、Eメール）

●応募部門：①小学1年生から3年生、②小学4年生から6年生、③中学校・高等学校、④成人の部、の4部門です

●表彰：部門別の入賞者にアラバマ大学から賞状が授与されます

●留意事項：作品はひとり1点未発表のオリジナルに限ります

詳しい記事はホームページをご覧ください

<発行>

習志野市国際交流協会
千葉県習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼6F
〒275-0016
Tel&Fax 047-452-2650
http://www.nia08.com/
nia@jcom.zaq.ne.jp

<広報から>

- ◆メールマガジンに読者登録をスクウェアの電子版「メール・スクウェア」を配信しています。無料です。配信停止も自由です。配信をご希望の方はPCメールアドレス niasquare@jcom.zaq.ne.jp まで。
- ◆原稿をお寄せください
イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。
投稿は事務局または niasquare@jcom.zaq.ne.jp へ。
- ◆スクウェア編集部員を募集しています
一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。